

本年度のアクションプラン

令和7年度 石田小学校 アクションプラン - 1 -	
重点項目	生徒指導（挨拶習慣の育成）
重点課題	自分から進んで気持ちのよい挨拶ができる子供の育成
現状	・相手から挨拶をされたとき、挨拶を返すことができる子供は多いが、自分から進んで気持ちのよい挨拶ができる子供は多くない。
達成目標	・挨拶に関する自己評価カードの達成率80%以上
方策	<ul style="list-style-type: none"> ・計画委員会が中心となり、挨拶運動の継続、充実を図る。挨拶を活性化させる策を考えたり、各学級へ提案して意識を高めるための話し合いを設定したりして、挨拶運動の充実を図る。 ・学校だよりや学年だより等を通じて学校の取組を知らせたり、家庭での挨拶のより一層の活性化を呼びかけたりして、家庭や地域と連携して挨拶の習慣化を図る。 ・朝活動や学級活動の時間にソーシャルスキル・トレーニングや対人関係ゲームを適切に取り入れ、好ましい人間関係づくりに努める。
外部評価者	学校運営協議会委員、保護者
公開の方法	学年・学校だより、ホームページ、学級懇談会

令和7年度 石田小学校 アクションプラン - 2 -	
重点項目	健康・安全
重点課題	望ましい生活習慣の確立
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度は、目安の就寝時刻（下学年：9時半、上学年：10時）を知らせ、強調週間を設けて生活リズムを整えられるように取り組んだ。しかし、目安の時刻を守れた児童は、平日、休日ともに、約60%であった。また、就寝時刻が、大変遅い児童がどの学年にも見られた。 ・学校保健委員会でメディア依存について学んだことで、メディアの視聴時間を減らす意識付けができた。また、「電源オフしてリラックス」の取り組みを通して自分に合ったリラックス方法を取り入れることで、よく眠れることを実感する児童がたくさんいた。
達成目標	・睡眠時間が8時間以上の児童の割合が80%以上
方策	<ul style="list-style-type: none"> ・一学期の学校保健委員会は「睡眠の大切さ」をテーマに開催し、児童と保護者への呼びかけを行う。 ・毎学期、強調週間を設定し、チェックカードを用いて睡眠時間への意識を高める。保健便りや学年懇談会を通して、家庭の生活時間に合わせた睡眠時間の確保をお願いし、連携しながら取り組む。
外部評価者	学校運営協議会委員、保護者
公開の方法	学年・学校だより、ホームページ、学級懇談会

令和7年度 石田小学校 アクションプラン - 3 -	
重点項目	学習指導
重点課題	相手意識をもって伝え合う力の向上
現状	<ul style="list-style-type: none"> ・前年度は「聞く」「話す」の項目において肯定的な回答をした児童の割合がそれぞれ80%を超えた。 ・自分の意見を吟味せずに思いっくままに話したり、相手の意見にかかわらず自分の思いだけを話したりする児童もいる。
達成目標	・「石田スタンダード」（年間を通して学校全体で取り組む共通の重点）における「聞く・話す」の項目で「できた」という割合が80%以上
方策	<ul style="list-style-type: none"> ・つなぎ言葉を使ったり、ハンドサインで友達の意見との関わりを示したりするような授業のあり方を工夫する。 ・友達の意見との共通点や相違点を考えながら発言したり、振り返ったりする活動を通して、相手との関わりが意識できるようにする。
外部評価者	学校運営協議会委員、保護者
公開の方法	学年・学校だより、ホームページ、学級懇談会